

木場潟公園の平成22年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	(財)木場潟公園協会 代表者 理事長 中野 誠太郎
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 〔不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入〕
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接客向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回のミーティングを行い、全スタッフの接客向上の指導徹底 ・毎週木曜日、職員による「打ち合わせ」、苦情の分析・共有、接客向上 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施(延519通) <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのボート・自転車の貸出(有料)
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新規】ドッグラン(7月～3月)(利用者数5,677人) ・花菖蒲まつり(6/1～20)(参加人数7,862人) ・キャンドルナイトウォーキング(9/4)(参加人数約7,000人) ・公園まつり(10/16)(参加人数2,403人) <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新規】ホームページを開設 ・自主企画のポスター配布 <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺小学校のイベントへの参加協力依頼 ・周辺8町による公園用地を協同清掃
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数((2)②参照) ・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃、保守点検、警備、小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園路・園地・駐車場の除雪 ・芝刈り機修繕 ・汚泥くみ取り ・マンホール修繕
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門業者による遊具の点検

(2) 施設の利用状況

①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H 2 1 年度 (参考)	H 2 2 年度	前年度比	増減理由
公園利用者数(人)	543,372 人	617,464 人	114%	・ 公園近隣に道の駅の整備 ・ 健康と安近短志向の高まり ・ 小松市政 70 周年イベントとの相乗効果 ・ ドッグランの設置

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減免理由
貸しポート	77,000	0	
貸し自転車	531,000	0	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	37,803	人件費	6,216
利用料収入	608	光熱水費	5,281
自主事業収入	2,642	修繕費	1,446
		緑地等施設管理費	23,733
		その他	4,377
合計	41,053	合計	41,053
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数 519 件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	53.0%	43.4%	2.3%	1.3%
施設の維持管理	57.0%	41.5%	1.5%	0.0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成 22 年 4 月	通路に駐車車両	状況確認、注視
平成 22 年 5 月	駐車禁止箇所に駐車車両	ポスター掲示、注意喚起
平成 23 年 1 月	園路除雪の依頼	除雪実施

②事故、故障等

年月	内容	対応
該当なし		

③その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none">・利用者、地元との連携し多彩なイベントを開催・充実や、自主事業への積極的な広報活動の結果も利用者は増大し、60万人／年を超えた。・利用者とのコミュニケーションに努め、利用しやすい運営に努めている。・ドックランを設置し利用向上を図った。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none">・施設内は常に清潔に保たれており、仕様書等に基づき適切な管理がなされている。・指定管理者自らが速やかに施設の改善、修繕に努めている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none">・非常時の連絡体制が確立、安全対策が適切である。
④その他、必要と認める事項（例：苦情処理、個人情報保護）	B	<ul style="list-style-type: none">・公園利用者が60万人／年を超え、多種多様な要望が多くなってきているが、公正公平な対応をしている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none">・施設の設置目的にあった適切な管理運営がなされている。ホームページを開設しIT化を進め、情報連携の強化を行った。・付近に設置された道の駅との相乗効果で、更なる利用者の増加を期待したい。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を上回っている
- B（良）：仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C（可）：仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っている

○総合評価

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D（不可）：改善が必要である

※評価にあたっては、利用者アンケートの結果を考慮するものではないので注意すること

（7）助言・指摘事項

関係団体との連携を密にし、さらに円滑に事業が行われることを期待する。